

一般社団法人 Nurse for Nurse

年間報告書 2023-2024（第3期）



Nurse for Nurse
Connect and Discover

ご挨拶

いつもNurse for Nurseをご支援いただき ありがとうございます。

月日の流れは速いもので、Nurse for Nurse (NfN) はお蔭様で3周年を迎えました。今日に至るまで、皆様お一人おひとりのお力添えとご支援に心より感謝を申し上げます。

3期目のNfNはテルモ生命科学振興財団助成事業に採択いただき、「市民・看護職への看護小規模多機能型居宅介護での看取り推進事業」に取り組み始めました。8月には全国から集まった4名の看護職の方に株式会社ラピオン代表の柴田三奈子様のご協力を得て、ラピオンナーシングホーム（看多機）への見学プログラムを実施することができました。12月には関連ウェビナーを予定しています。

そして、6月より認定特定非営利活動法人みかんぐみ様が中央共同募金会様の助成事業に採択されたのを受け、過去2年間の事業を発展させた形として「在宅支援看護職を増やす事業」を再び業務委託されました。11月には東京都（杉並区）にて実地開催の交流イベントを実施し、来年2月には「暮らし」見学プログラムを予定しています。また、これまでの2年間の活動をまとめた動画「医療的ケア児・重症心身障害児の生活と看護職の関わり」を作成し、全国の看護系大学の小児看護学の先生方を中心にご案内いたしました。

また、現在、NfNではメヂカルフレンド社様の雑誌『看護展望』の連載「看護のリーダーシップ『看護エキスパート』の経験から学ぶ」へ編集協力をしておりますが、その企画にちなんだウェビナーも2025年1月に開催いたします。看護職だけでなく、看護学生にもご参加いただき、これから益々必要とされている「看護のリーダーシップ」について共に考える時間にしたいと考えます。皆様のご参加をお待ちしています。

NfNでは看護職のキャリア開発支援において看護職の活躍を社会に発信することにも大切と考え、様々な機会を通して活動について発信しておりますが、本報告書を通してその一部をご紹介します。

NfNは看護職のキャリア開発支援を通して様々な社会課題解決を目指しております。皆様とConnect and Discover（つながりと発見）というコンセプトを大切に、これからも活動して参りたいと願っておりますので、引き続きあたたかいご支援を賜れましたら幸いです。

今後ともNfNを何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年11月
門元記子（代表理事）
二田水彩（理事）
川添高志（理事）

目でみるNfN*

NfNでは分野横断的に地域や世代を超えて、看護職同士がキャリア開発において助け合える持続可能なシステム構築を目指しています。国内外からたくさんの方にNfNの活動にご賛同いただき、会員登録していただいています。

会員データベースやキャリア相談サービスがより充実したものとなるよう、今後も多くの看護職の方に会員登録いただけるよう活動して参ります。

| 会員の生活／活動拠点 | |
|---|-----------------|
| 国内 | 海外 |
| 東北・関東・中部・四国・近畿・九州 | ヨーロッパ・アフリカ・アメリカ |
| 年齢層 | |
| 30-40代を中心に、20代～70代のご登録あり | |
| 男女比 | |
| 1: 4 | |
| 関心領域 | |
| 看護管理・政策・国際看護・産業保健・保健行政・精神保健・がん看護・母子保健・老年看護・在宅看護・災害看護・学校保健・看護教育・急性期ケア・小児看護・公衆衛生・地域看護など | |
| 賛助会員（個人） | |
| 4 | |



Facebook
(2022年1月31日開設)
187 いいね！
300フォロワー



X
(2022年4月26日開設)
217 フォロワー
@NurseforNurse



インスタグラム
(2023年11月14日開設)
124 フォロワー

*情報は2024年9月24日現在

**NfNの「看護職」の定義は日本国の保健師・助産師・看護師免許保有者です。当法人の会員は「看護職」であることを条件としておりますが、海外の看護職資格を保有する方など、当法人が別に認めた者を会員として認めることがあります。

キャリア相談事業

2022年9月にキャリア相談事業を開始して以来、NfNでは計17名の看護エキスパートをお迎えしました。キャリア相談は看護エキスパートの方々をはじめ、会員同士でも実施していただくことができます。会員データベースより皆様のこれまでのキャリアの歩みや現在の取り組みをご覧ください、お申込みしていただけます。

看護エキスパートの皆様



井倉一政

NPO法人三重ナースマネジメント協会
理事長
トータルライフイノベーションCEO
三重大学医学部附属病院臨床研究
開発センター
助教・データマネージャー



池亀 俊美

公益財団法人肺原記念財団附属肺原
記念病院 (副院長兼主任看護部長)
公益社団法人東京都看護協会 (地区
支部理事 (多摩南))
一般社団法人日本循環器看護学会
(理事)



大川純代

国立国際医療研究センター
グローバルヘルス政策研究センター
上級研究員



太田喜久子

日本赤十字看護大学
特任教授



大橋奈美

医療法人ハートフリーやすらぎ
常務理事兼統括管理責任者
一般社団法人日本訪問看護認定看護
師協議会 代表理事
中央共同基金事業協力
エキスパート



木内昌子

一般社団法人MEPL (メープル)
代表理事

中央共同基金事業協力
エキスパート



北村千章

清泉女学院大学大学院看護学研究科
看護学専攻教授
NPO法人親子の未来を支える会理事

中央共同基金事業協力
エキスパート



駒形朋子

東京女子医科大学看護学部
看護管理学領域 (准教授)



小柳弘恵

やんばる希望ヶ丘助産院
院長



菅原由美

全国ボランティアナースの会
キャンパス
代表



田端支普

訪問看護ステーション
ハートフリーやすらぎ
管理者

中央共同基金事業協力
エキスパート



福田裕子

まちのナースステーション八千代
統括所長



本田和也

国立病院機構長崎医療センター
脳神経外科・教育センター
副看護師長/診療看護師 (NP)
九州大学大学院医療経営
学管理学専攻 大学院生



水越真代

健康企業推進サポート
シャイニングライフ
代表



安田愛美

株式会社メディキッズ
代表取締役

中央共同基金事業協力
エキスパート



山本則子

東京大学大学院
教授



山本典子

株式会社メディア
医療デザイン研究所
(代表取締役)

あなたもキャリア相談してみませんか？ ご相談事例

今まで病院で看護師として働いてきたのですが、新しいことを始めたいと思い、個人事業を立ち上げようと考え、その際にNfNを通して実際に事業を展開している方からアドバイスをいただきました。

転職に向け、情報収集も兼ねた面接対策として利用させていただきました。

“

誰に相談したら良いかわからない内容だったのですが、NfNでふさわしい相談相手の方が見付き、安心して相談することができました。

<ご相談者の声>

“

キャリア相談は、自分が目指している方面の先をすでに歩いている人とつながることが第一歩となりますので、NfNのキャリア相談はその第一歩を支援するよいプラットフォームだと思います。

<ご相談を受けられた方の声>

“

転職先として考えているところにお勤めの方にお話を伺うことができ、業務内容や関係者との連携など実際に働いた際のイメージを持つことができました。

<ご相談者の声>

“

相談者の質問に答えることができ、キャリア支援につながると感じられた。

<ご相談を受けられた方の声>

メディア掲載

NfNでは下記の看護系雑誌に紹介記事を掲載していただきました。

- メディカ出版様「メディカ LIBRARY」、NfN連載「看護とキャリアと社会課題~全部つながる Nurse for Nurse」記事掲載 #004「地域で子どもたちの暮らしを支える看護職のキャリア開発支援」
- 地域保健様11月号WEB版、NfN理事の二田水へのインタビュー記事「看護職の活躍の場は限定されない。ニーズのあるところに飛び込み課題に向き合おう」（「ピープル」コーナー）掲載
- メチカルフレンド社様『看護展望』12月号、「社会課題解決に向けて新しい働き方を創る挑戦者たち」
- メチカルフレンド社様『看護展望』2月号、「医療的ケア児・重症児等の当事者ご家族と看護職の交流会～お互いの声を聴いてみよう～」実施報告掲載
- 医学書院様『訪問看護と介護』3月-4月号 (Vol.29 No.2)「医療的ケア児・重症児等の当事者ご家族と看護職の交流会～お互いの声を聴いてみよう～」実施報告掲載
- メディカ出版様「メディカ LIBRARY」、NfN連載「看護とキャリアと社会課題~全部つながる Nurse for Nurse」記事掲載 #005「看多機でのキャリアを考える～在宅看取り推進事業～」

二田水 彩さんインタビュー／「ピープル」2023年11月号WEB版

看護職の活躍の場は限定されない。ニーズのあるところに飛び込み課題に向き合おう

現在、東京医科大学医学部看護学科の助教として教壇に立つ傍ら、一般社団法人Nurse for Nurse（以下、本文中はNfN）の理事を務める二田水彩さん。



NfNの活動の主な目的とは、時代や社会の変遷とともに多様化する看護職へのニーズや課題に目を向け、看護職のための看護職によるキャリア開発支援事業を展開することだ。NfNが設立されたのは2021年。まだ活動を始めて2年というのだが、二田水さんの自らの夢や希望とともに、NfNでの活動状況や関わりについて伺った。

【プロフィール】
二田水 彩（にたみず・あや）さん
東京都出身。慶應義塾大学看護医療学部を卒業し、看護師、保健師資格を取得。聖路加国際病院での臨床経験、JICA青年海外協力隊（ドミニカ共和国）、国際医療福祉大

トップ > シリーズ記事 > Nurse for Nurse > #004 | 地域で子どもたちの暮らしを支える看護職のキャリア開発支援



Nurse for Nurse
Connect and Discover

看護とキャリアと社会課題
全部つながるNurse for Nurse

#004
地域で子どもたちの暮らしを支える
看護職のキャリア開発支援

門元記子（一般社団法人Nurse for Nurse代表理事）

看護とキャリアと社会課題～全部つながるNurse for Nurse | #004 | 地域で子どもたちの暮らしを支える看護職のキャリア開発支援

2023/10/18

【本連載を振り返って】
社会課題解決に向けて新しい働き方を創る看護職たち

門元記子 二田水彩 川添高志
一般社団法人Nurse for Nurse 代表理事 23年 第2巻

メチカルフレンド社「看護展望」編集部より連載企画「新しい看護職の働き方を創る挑戦者たち」のお話をいただいたのは2022年8月にさかのぼります。Nurse for Nurse（以下、NfN）が会員登録を開始し、少しずつお申し込みをいただけるながら、これから先のような方に出会えるのかワクワクし始めていた頃です。ご依頼内容は「既存の看護職の働き方にとらわれず、国内外で活躍されている看護職のキャリアや業務内容について紹介する」というものでした。NfNの会員の魅力、それぞれもっている可能性や社会課題解決に向けた取り組みを発信したい、という思いとちょうど重なった時期でした。このような運び合わせと貴重な機会に感謝しながら編集協力をお引き受けしました。

は、「A career is an opportunity to find one's voice and use it to promote both the individual and professional impact of one's expertise.（キャリアは自身の声を見つづける機会であり、それを用いて、個人および専門職としての自身の専門性によるインパクトを推進するもの）（筆者訳）」であり、「A career journey ebbs and flows- one of the great characteristics of a professional nursing（キャリアの旅には浮き沈みがあり、これが専門職である看護職の大きな特徴の一つである）（筆者訳）」とされています。また、キャリアという用語の定義を「看護師である個人の職業上の立場や役割のこと、たとえば、組織内での昇進や昇格、資格や職業経歴を含むものを意味する」としている戸田がある一方で、久保ら（2018）は

HOMON ホットライン

医療的ケア児の当事者ご家族と看護職の交流会を実施して

一般社団法人 Nurse for Nurse 代表理事 門元記子

「医療的ケア児・重症児等の当事者ご家族と看護職の交流会～お互いの声を聴いてみよう～」と題したオンラインイベントを、2023年11月19日、特定非営利活動法人みかんぐみと一般社団法人Nurse for Nurse主催で開催しました。当事者ご家族と看護職は日頃から子どもを通じて接するものの、そこを離れて互いの実情や本音を語り合う機会は多くありません。そこで、両者の対話の場を設けようとしたのが本イベントです。当日は関東、近畿、九州、沖縄など全国各地の当事者ご家族、看護職、さらに看護学生が参加しました。イベントの冒頭、モデレーターを務めた北村千草さん（清泉女学院大学看護学部小児看護学教授）からは医療的ケア児を取り巻く状況に関する解説が増加しているデータを示し、2021年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されたことを受け、医療依存度が高くても子どもたちは地域に帰り、学校に行く時代を迎えたと説明しました。

家族の思いと看護職との関わり
当事者ご家族から子どもごとの生活と看護職との関わりを紹介していただきました。人工呼吸器が必要な5歳児を持つ母親は、週6日の訪問看護、児童発達支援、在宅レスパイト等訪問看護事業を利用してらるそうです。居住区で、2023年4月より自宅以外の場所でのレスパイト訪問看護の利用が認められたことにより、児童発達支援以外の託児所でも母子分離が可能になったと話しました。「知識を持ってケアができる人の存在は、ハンディを持って生まれた子とその家族の可能性を広げてくれる」。そう述べたのは特別支援学校の訪問学級に在籍する4年生の子を持つ父親です。働き出せる父親としては、看護職は精神的な安心材料となり、崩れそうになった日常を取り戻す上でとても心強い存在だったと語りました。

学会発表・講義活動

NfNでは、活動を通して得られた知見等を学会発表や講義形式にて社会へ発信しています。

- 2023年12月10日：第43回日本看護科学学会学術集会の交流集会「看護人生二毛作時代へ」にNfN代表理事の門元と理事の二田水が登壇（「看護職のキャリア開発支援と社会課題解決 看護職同士がつながり助け合うキャリア開発支援プラットフォーム、キャリアや社会への影響」）
- 2024年8月24日：第28回日本看護管理学会学術集会の情報交換会において理事の川添が「看護職のエンド・オブ・ライフケア（End-of-Life care） & キャリア」と題したインフォメーション・エクステンジに登壇しました。



講義

NfNでは看護学生さんに看護職の活躍の幅の広さについてお話する機会をいただきました。

10年20年先の看護の未来を考える

京都橘大学看護学部
2023.10.05

NfN 一般社団法人Nurse for Nurse
門元記子（代表理事）

QRコード

<NfNウェブサイト>
nursefornurse.org

2023年10月：京都橘大学看護学部の4年生を対象とした「看護創造論II」という授業に登壇いたしました。

本授業のテーマは「20年先、時代予測と求められる看護を踏まえ、看護の働き方をイノベーションする」であったため、NfNでは「10年20年先の看護の未来を考える」と題してお話をさせていただきました。

看護職としてのキャリア形成
～国を超え課題解決のために行動を起こす～

NfN 一般社団法人Nurse for Nurse
門元記子（代表理事）
二田水彩（理事）

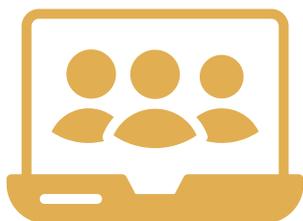
2024年6月：大手前大学国際看護学部2年生へ「看護職としてのキャリア形成」と題した講義をさせていただきました。

ご依頼時にいただいた「国を超え課題解決のために行動を起こす」というテーマで代表理事の門元および理事の二田水がこれまでの海外での活動などについてお話いたしました。講義後のグループワーク等を通して私たち自身も改めて気づかされる点も多くあり、とても有意義で楽しい時間を過ごさせていただきました。

学生の感想

- 「未来の看護について講義をして頂き、10年後、20年後の看護職は、今では思いつかないような場所で看護職が働くようになっていくかもしれないということが分かった。看護職は病院や行政で働くべきだと自分の道を狭めず、広い視野でキャリアデザインをしていきたいと思った。」
- 「国を超えて問題解決をするために必要なことについて考えることが出来ました。他国に行くということは、語学力がいちばん大切だと思っていました。しかし、今回のグループワークで、発信力、想像力、自己管理能力、メンタルなど、様々な意見を聞くことができ、思考が広がりました。簡単なことではないということを改めて感じたため、国際的に活動する覚悟を持って、学習する必要があると思いました。」

NfNへのコメント



- 「国内外どこにいても看護職同士が支え合えるシステムを目指し設立したとお聞きし、とても素晴らしい活動だなと感じました。看護師同士が助け合うことで看護師としての可能性を引き出していくことへ繋がるのだと学びました。」
- 働いていると職場ではつながりができるけどその他のつながりはできにくいのではないかと考えた。その時、NfNでネットワーク上で看護師同士がつながることができる機会が提供されていることは、看護職にとって視野が広がる機会となりとても良いのではないかと感じた。」

ポッドキャスト



2022年2月に開始したポッドキャスト Nurses Change the World (全8エピソード) は、様々な看護領域でご活躍されている看護職の方々をゲストとしてお招きしました。そして、そのお仕事や取り組み内容、魅力、どのような形で社会の課題解決に挑戦されているか等を伺って参りました。

今後はさらに多くの会員の方々のご活躍の様子を紹介させていただけるよう、「NfN会員リレーエッセイ」というご執筆の形でお届けいたします。

ポッドキャスト、最後のエピソードは一般社団法人国際開発機構 (FASID) の山本還さんです。

全エピソードは[こちら](#)からお聴きください！



看護職それぞれの「世界を変える、社会を変える」という意気込み、その壮大な想いを感じ取っていただき、刺激を受けると共に、その気持ちを私たちと一緒に後押ししていただければ幸いです。

中央共同募金会事業

2023年6月～2024年3月まで、NfNでは中央共同募金会様の助成金による「医療的ケア児・重症心身障害児等とその家族を支援するための看護職を増やす事業」を当事者団体である認定特定非営利活動法人みかんぐみ様より業務委託を受け実施しました。本事業はこの領域に関心のかる看護職がご家族と交流できるイベントと調査研究にて構成されました。

交流会

「医療的ケア児・重症児等の当事者ご家族と看護職の交流会～お互いの声を聴いてみよう～」



2023年11月19日、「医療的ケア児・重症児等の当事者ご家族と看護職の交流会～お互いの声を聴いてみよう～」と題した交流イベントが開催されました。オンラインで開催され、関東、近畿、九州・沖縄地方など全国各地から、たくさんのご家族および看護職、看護学生にご参加いただきました。

モデレーターの清泉女学院大学小児看護学教授の北村千章氏からはこの10年で医療的ケア児は約2倍に増加しているというデータと共に、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の施行を受け、医療依存度が高くても子どもたちは地域に帰って学校に行く時代を迎えているというお話がありました。

続いてご家族より、「家族の生活と看護職との関わり」と題したご発表がありました。訪問看護や在宅レスパイトの利用状況、通学バスの課題などが紹介され、子どもたちの支援にあたる看護職がもっと増えることが望まれるとお話されました。また、「知識を持ってケアができる人の存在は、ハンディを持って生まれた子とその家族の可能性を広げてくれる」というご経験の共有もありました。

その後、訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ管理者の田端支普氏および一般社団法人MEPL代表理事の木内昌子氏から、それぞれ看護師としてのキャリアの変遷とともに看護職としての考えが発表されました。

最後はみかんぐみ副代表の荻野様から「看護職、当事者家族、それぞれの課題はあると思うが、きっと壁は打ち破られるのではないか、という勇気が湧いてきました」という言葉によって締めくくられました。

会の後半は「保育所・行政」「訪問看護」「学校」という区分でブレイクアウトルームに分かれ、交流会を行いました。

本イベントはお互いの声を聴いて相互理解を深めることを目的とした会でしたが、ご家族には看護職が何を考えながら看護を実践しているのか、看護の役割についてご理解いただき、看護職にはご家族の思いを聞いていただきながら、子どもたちにとってより良い支援につながるためのヒントを得ていただけたように思います。

調査研究

地域で暮らす医療的ケア児等のご家族と看護職の協働～家族とともに考える地域の看護職のキャリア開発～

認定特定非営利活動法人みかんぐみとNfNは、重症心身障害児や医療的ケア児の社会生活を支える看護職が不足している社会課題にともに取り組みため、調査研究を実施しました。

その目的は、重症心身障害児および医療的ケアを必要とする子ども（以下、医療的ケア児等）のご家族が子どものケアを委ねる看護職へ抱く思いと、そのケアを子どもが生活する場で引き受ける看護師が抱いている困難感や看護ケアへのやりがいを明らかにすることです。結果を通して、相互理解を深め、社会課題の解決に子どものご家族と看護職が協働して取り組める関係性の構築を目指していきたいと考えています。

本研究結果は2024年11月に開催されます日本在宅看護学会第14回学術集会にて発表予定です。

その他

「医療的ケア児・重症心身障害児の生活と看護職の関わり」と題した動画



2022年度および2023年度に実施した事業内容を用いて、「**医療的ケア児・重症心身障害児の生活と看護職の関わり**」と題した動画にまとめました。

NfNでは看護学生にも本領域について知見を深めてもらえるよう、2024年6-7月にかけて、本動画を全国の看護系大学の小児看護学の教員の方々にご案内しました。

これから看護職を目指す方、看護職、そして当事者ご家族など多くの方々にご覧いただき、この領域への関心を高めると同時に相互理解を促進する一助になることを願っています。

制作：認定特定非営利活動法人みかんぐみ・一般社団法人Nurse for Nurse

監修：北村千章（清泉女学院大学看護学部小児期看護学教授・NPO法人親子の未来を支える会理事）



看護師や周りの人の関わりによって、子どもたちの発育が促されることが具体的にイメージできて素晴らしいと思いました。お写真も可愛らしくて、いきいきと生活している様子がよくわかりました。

看護を学ぶ低学年でも理解できるようわかりやすく作成され、学生への関心も高まるように感じました。

視聴者の声

その他

2022年度見学参加者のその後の活動

Nurse for Nurseでは、医療的ケア児・重症心身障害児等の生活の場を見学し理解を深めることを目的とした「見学プログラム」を2023年2月に特定非営利活動法人みかんぐみ様と実施しました（2022年度中央共同募金会事業）。その際の参加者のお一人であった並木知佳さんよりプログラム参加後の活動についてご報告を頂きました。



プログラムに参加した時は、病院を退職したばかりでその後について具体的なことは決まっていなかった状況でした。翌月に特定行為研修在宅パッケージで同じクラスだった訪問看護ステーションの管理者の方からお声掛けいただき、そちらの事業所で初めて小児を受け入れるお手伝いを4回程度ですが行いました。さらにその後、現在所属している訪問看護ステーションの管理者の方からお誘いをいただき、訪問看護に関わっていくことになりました。当事業所の管理者も特定行為研修で同じクラスだったこともあり、小児の気管カニューレ交換や胃ろうカテーテル交換の特定行為実践も行っています。クリスマスの時期はイベントにも参加しました。病院ではできない、訪問看護ならではの体験がたくさんできています。

訪問看護以外にも大学やクリニックなど複数の仕事を掛け持ちしていますので、当事業所での仕事は月数回程度のこともあります。所属先の上長や全てのスタッフの理解があってこそできる働き方ですが、周りの人に恵まれ楽しく働くことができます。

こちらのプログラムへの参加は、小児を専門分野にする前から興味があった訪問看護の世界に踏み込むきっかけとなりました。また、見学させていただいたお子さんやご家族から学んだことは、現在の実践に繋がっていると思います。このような機会を作ってくださったNurse for Nurse・みかんぐみの皆様、特殊な働き方に協力していただいている職場の皆様へ感謝しながら、今後も子どもと家族により良い看護の実践ができるようにしていきたいと思っています。

フローレンス訪問看護たけのつか
小児救急看護認定看護師 並木知佳

2022年度見学プログラムのミニ動画

2022年度に実施しました見学プログラムのミニ動画が完成しました。プログラムには行政保健師、訪問看護ステーション管理者、小児病棟に勤務していた看護師など様々な背景をもつ看護職にご参加いただきました。それぞれがご家庭を訪問する様子を是非ご視聴ください。



公益財団法人テルモ生命科学振興財団2023年度医療貢献活動助成採択（国内貢献）

Nurse for Nurseでは公益財団法人テルモ生命科学振興財団2023年度医療貢献活動助成（国内貢献）に採択され、2025年3月まで「市民・看護職への看護小規模多機能型居宅介護での看取り推進」と題した助成事業を実施しています。



2024年8月3日：NfNでは柴田三奈子様（株式会社ラピオン代表取締役）にお世話になり、看護小規模多機能型居宅介護ラピオンナーシングホーム（東京都日野市）にて見学プログラムを実施しました。

見学プログラムでは地域における看多機の役割、そこでの看護や看取りの実際について柴田様にお話いただき、現場を見学をしていただきました。

2024年8月31日：「看多機」見学プログラムの参加者報告会をオンラインにて開催いたしました。柴田様にもご参加いただき、当日の学びをさらに深める時間となりました。

参加者からは、柴田様の熱い想いに触れられたこと、小規模多機能との役割の違い、「点」でのサービスが「線」でつながりシームレスな支援が実現できていること、多職種連携の大切さなどが報告されました。



柴田様からは看多機は「経営よりも運営が難しい」というお話から、介護スタッフがやりがいをもって働ける環境づくりやスタッフと日頃からコミュニケーションをとりながらキャリア支援をしていること等をご紹介いただきました。

本プログラムの参加者は全国各地からお集まりいただき、キャリアの背景も様々ですが、見学プログラム当日は和気あいあいとした雰囲気楽しく過ごし、さらにお互いに良い刺激を受ける貴重な機会となりました。医療や介護が必要な方の在宅での過ごし方のひとつの形として、看多機の運営を含めた現場を肌で感じて頂けたことが伺えました。

2024年12月14日(土)
15:00-17:00

オンライン開催

「ほぼ自宅、ときどき第2のお家」

訪問（看護・介護）・通い・泊り全て対応可能な
看多機での生活、最期について考えてみませんか？

2024年12月14日（土）にはウェビナーを開催いたします。在宅看取りを実践されている看護職とそのキャリア、当事者ご家族のお話を通して、在宅での看取り、看多機での生活や最期について皆様と一緒に考えるひと時にしたいと思います。

< [事業について](#) >

< [ウェビナーお申込み](#) >



交流会

NfNでは会員同士が交流できる場として「交流会」を設けています。



交流会
9月30日(土) 14:00-15:30 (オンライン開催)

<話題提供者>

東京医科大学看護専門学校卒。東京医科大学病院内科系混合病棟にてAIDS看護、慢性疾患看護を経験。同病棟10年勤務後渡米。米国RN免許取得後、加州サンディエゴ市内にあるUnited States Universityにて、ファミリーナースプラクティショナー(FNP)修士課程を修了。FNP認定取得後、加州インペリアル郡に属する国境の町、Calexico市、にあるDe Anza Clinic (個人クリニック)に勤務。人口10万人に対して、プライマリケア医が27人、秋田県程の大きさに病院が二軒のみ合計170床、という医師不足が深刻なインペリアル郡において、プライマリケアを提供するFNPとして今年で6年目となる。英語を母語としないバイリンガル(Spanish-English, Chinese-Spanish)な患者が多くを占める中、全年齢の内科系疾患患者を診療し、予防医療、患者教育を実践している。

長谷川昇造さん (FNP-C)

2023年9月30日：**第2回NfN交流会**では、米国でファミリーナースプラクティショナー(FNP)としてご活躍中の会員、長谷川さんに話題提供していただき開催しました。長谷川さんは日本の大学病院での勤務を経て渡米されましたが、FNPとして働き始めてから現在に至るまで、困難な壁が立ちただかることが度々ありました。その時できることを模索しながらご自身で道を拓いてきた長谷川さんのキャリアのお話に大変刺激を受けました。



FNPという働き方は、日本ではなかなか具体的なイメージを持ちにくいですが、診療の具体的な様子をお聞きしたりすることができたのも大変興味深かったです。

また、カリフォルニア州では2023年にNPのクリニック内での独立診療実践が認定後可能になったこともあり、長谷川さんの今後の展望にもワクワクしました。

セミナー

NfNではまさに「Nurse for Nurse」の名の通り、看護職のための看護職によるセミナーを実施しています。コンセプトは会員である看護職の方を講師としてお招きし、他の看護職のキャリア開発において有益と考えられる内容をお届けしています。



<第3回NfNセミナー>

病院における転倒転落予防に関する知見の伝授
～施設、在宅にも活かせるヒント～

12月5日(火)
15:00~16:30
お申込み締め切り：11月30日(木)

セミナー講師
榎原貴美子さん
パラマウントベッド株式会社

NfN会員：無料
非会員：1,100円(税込)

*本セミナーは看護職限定です。
**お申込みいただいた方には期間限定でアーカイブ配信いたします。

2023年12月5日：NfNでは榎原貴美子さん(パラマウントベッド株式会社)をお招きして第3回NfNセミナー「**病院における転倒転落予防に関する知見の伝授～施設、在宅にも活かせるヒント～**」を開催しました。

本セミナーでは、榎原さんのこれまでのキャリアのご紹介に始まり、転倒転落予防のノウハウをハード面およびソフト面からお話いただきました。

転倒転落の多くはベッドサイドで発生しており、環境的要因や管理的要因、個人的要因などが複雑に重なりあって起きています。アセスメントに基づいた様々な対策を取ることで、未然防止、直前防止、被害軽減につながるという示唆をいただきました。

*NfNのセミナーおよびイベントのアーカイブ動画は会員サイトにてご覧いただけます。

Meet Up

NfNではConnect and Discoverをコンセプトに、看護職同士がつながれる場を交流会として定期的に提供しており、2024年4月には**第2回Meet Up in 東京**を開催しました。

話題提供者の看護師Sさんからは「これまでと製薬企業でのキャリアについて」と題したご発表をしていただきました。20代、30代、40代と転職を繰り返しながらどのようにキャリアを積み重ねてこられたかのお話は、大変刺激的で参加者の皆様も聞き入っておられました。

当日は多くの看護職、そしてお子様に朝からお集まりいただき、お蔭様で大変賑やかな会となりました。



来期に向けて

Nurse for Nurseは看護職同士がつながり、キャリア開発において助け合うことをミッションとして活動しております。

第3期は様々な事業をはじめ、交流会やMeet Upなどの機会を通して多くの看護職の方々となることができました。また、NfNの活動にご賛同いただき、新たに会員登録してくださった方々にも心より感謝申し上げます。

来期は、今期に引き続き学会での発表（日本在宅看護学会第14回学術集会）や看護学生への講義も予定しています。

また、2023年度に引き続き、認定特定非営利活動法人みかんぐみ様より業務委託いただいた中央共同募金会事業も実施いたします。これまでの事業を発展させた形として、医療的ケア児・重症心身障害児とご家族、看護職および看護学生の交流イベントをリアルで開催いたします。そして、2022年に実施しました見学プログラムを「暮らし」見学プログラムと名称変更

し、より「暮らし」の様子に着目していただきながら、ご参加される看護職のニーズにそったプログラムにしてお届けする予定です。

メヂカルフレンド社様と取り組ませていただいた「看護のリーダーシップ」連載は2024年12月に終了しますが、新たな企画として「シニアって楽しい！～定年退職後のキャリア」も準備しております。超高齢社会を迎えるなか、生き生きと活躍される看護職の皆様のキャリアをご紹介できれば幸いです。

NfNの掲げる目標は看護職のキャリア開発支援を通して社会課題解決です。来期も皆様のお力添えをいただきながら、いただいた機会一つひとつを大切に事業に邁進して参りたいと思います。

来期もご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

nursefornurse.org



Nurse for Nurse
Connect and Discover



一般社団法人Nurse for Nurseは
持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

3 すべての人に
健康と福祉を



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も

